

		学校評価アンケート（相互比較）12月		満足度（肯定的）			
		質問数	内容項目	職員	児童	保護者	
学校教育目標	知	1	児）授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。（指標7）	/	81.7%	/	
		2	児）学校に行くのは楽しい。（指標1）	/	86.4%	/	
	徳	3	職・児・保）進んで元気なあいさつができる。	40.0%	73.1%	73.8%	
		4	職・保）学校は、いじめや仲間はずれがない常に注意を払っている。 児）いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。（指標2）	100.0%	95.3%	84.3%	
		5	本を進んで読んでいる。	65.2%	65.5%	57.3%	
		6	勉強で努力することは大切だと思う。（指標8）	/	94.9%	/	
		体	7	早寝、早起き、朝ごはんができています。	77.2%	82.3%	89.9%
			8	進んで運動している。	81.8%	81.9%	67.7%
確かな学力の向上	9	黙想、ベル始業、ベル終了ができる。	68.2%	83.5%	/		
	10	職）授業中、先生の話をよく聞いている。 児）授業中、先生の話をよく聞いて自分の考えを発表している。	72.7%	63.3%	/		
	11	職）児童は、自分の考えをわかりやすくノートに書くことができる。 児）授業中、自分の考えをわかりやすくノートに書くことができる。	52.4%	77.9%	/		
	12	職）分からない問題は先生や友だちに聞くことができる雰囲気を作っている。 児）自分の学級では、分からない問題は先生や友だちに聞きやすい。	100.0%	88.9%	/		
	13	職）主体的・対話的で深い学びのためのアウトプット型の授業を実践している 児）授業中、自分の考えをペアやグループの友達に伝えることができる。	91.5%	81.9%	/		
	14	職・保）教師は、授業と連動した宿題・家庭学習を与えている。 児）授業で学習したことが宿題や家庭学習になっている。	100.0%	89.8%	95.7%		
	15	職）教師は、マイノートを使って教材研究をしている。 児・保）先生の授業は、わかりやすい。	90.4%	93.0%	94.7%		
自己有用感	16	学級みんなで話し合って決めたことなどについて協力して取り組み、嬉しかったことがある。（指標3）	/	86.1%	/		
	17	職・児）学級生活をよりよくするために、学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。（指標4）	66.7%	86.7%	/		
	18	自分には、よいところがあると思う。（指標5）	/	76.9%	/		
	19	職・保）教師は、学級の子どもたち全員のよさを常に認めている。 児）先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う。（指標6）	100.0%	91.5%	93.1%		
教育活動	20	職・保）学校は、教育活動に地域人材（学校職員以外の講師等）の協力を得ながら子ども達の学習や行事を進めている。	100.0%	/	89.1%		
	21	職・保）学校は、特別支援教育（発達段階に合った子ども達への児童理解と関わり）が全職員体制で行われている。	95.5%	/	84.9%		
	22	職・保）学校は、お子さんたちの悩みに対応する教育体制が整っていると思う。 児）学校で困った時は、いろいろな先生方がお話を聞いてくれる。	91.3%	87.3%	84.9%		
	23	職・保）学校は、子ども達の教育環境を整えるために、保護者、職員、地域の皆様と連携し合い、協力し合っていると思う。 児）自分達のために先生やおうちの方がいつでも支えてくれると感じる。	95.7%	91.4%	85.0%		
	24	職・保）学校は、お手紙やホームページ、メール等で保護者へ情報が伝わるように積極的に公表していると思う。	100.0%	/	92.2%		
	25	職・保）学校は、保護者の悩みや相談に丁寧に対応している。	100.0%	/	88.5%		
	26	学校運営に対する企画・調整はうまくされている	100.0%	/	/		
	27	学校行事や日課表は効果的に組まれている。	100.0%	/	/		

**【成果】**

- 学級活動の充実や児童のよさを認める取り組みを行うことで、自己有用感が高まってきた。
- アウトプット型授業を行うことで伝え合いや学び合いができる素地が出来てきた。
- チームとして一人一人の児童を支える体制が整っている。

**【課題及び対応策】**

- あいさつ
- 読書の時間の設定
- 南風原町のそろえる実践の徹底（再確認）
- 主体性・発表力・書く力の育成（授業改善）
- 自己肯定感の育成
- 児童・保護者に寄り添った教育相談へのアプローチ（教育相談体制の確立）
- 保護者を巻き込んだ教育活動の展開

## 学校生活又は行事等で良かったと思われる取り組み（保護者回答）

### 1 運動会について

- 運動会に優先駐車券を発行していただき安心して参観できた！運動会の時間分散は子供達を間近で応援出来るので良かった♪
- 場所確保やビデオ撮影等にもゆとりがありました。
- ひとり親の本音としては午前中で切り上げてくれる(弁当持参の必要が無い)今の運動会が気持ち的にも金銭面的にも助かってる。
- 全学年出るのであれば、観覧する親は交代制にして、子どもは残って見ているといいのかなと感じました。運動会は自分の子の居場所や順番が分かりとても助かりました。

### 2 授業参観について

- 授業参観が毎月設定されていてありがたい。授業参観の時間別参観 コロナ対策もあると思いますが、少人数なので授業内容も把握しやすいです。
- 授業参観が多いことが嬉しいです。

### 3 その他の取り組みについて

- 親子レク ○星空講習 ○親子運動会 ○地域の方との交流(昔あそび)
- 暮れの街たんけん ○お月見団子づくり ○遠足(空手会館見学)
- 社会見学、校外学習を積極的に計画している。 ○教育相談
- 担任が休んでも他の先生にて、授業を代行し行っていたこと。
- 合唱の参観が出来たこと 6年生の地区音楽発表会のオーディションがとても良かった。
- 修学旅行や調理実習など、コロナ禍に気をつけながらも実施できたことに感謝します。
- 5年生の宿泊学習だけが、デイキャンプに変更との事、時間確保も大変だとは思いますが、ここ3年のコロナ禍の子供達にとって、宿泊学習はやっぱり楽しみが大きかったと思うので、宿泊で開催できたら良かったかなあと思います。
- 今年からメールでのお知らせが増えとても便利です。うちはメールで確認できるので紙のお知らせよりメールが助かります。ありがとうございます。
- メールでも細かく学校のお知らせや報告等が届くことがありがたいです。
- 立哨。前もって学校側で細かく分けてくれるので予定も組みやすい。
- 親がクラスに読み聞かせにくるという取組みが良い。
- 目のつく所に、学びを得られる取り組みがなされていて、勉強になる。宅習では、さまざまな得点があることでやる気に繋がる面があり、また、日々の生活の中でも、お友達同士のいい面を見つけて発表する場面があったりとさまざまな場面で工夫されているのだと思います。
- 学校新聞や生徒が校長室に出入りできる雰囲気が良いと感じました。子どもが困った事があった時、丁寧に対応していただき、安心して登校する事ができました。
- 子供が悩んだ時に今日相談室へ行ったよ。とよく話を聞きます。気軽に相談できる環境

はすばらしく相談の先生もとても親身になってくれるので安心しています。

○校長先生が毎朝門に立ってくださることもありがたいですし、子供達が立ち止まって挨拶する習慣もすごく良いことだと思います。

○校長先生をはじめ先生方と子供達との関係性（コミュニケーション）が密でしっかり取れていると思います。

○何より担任の先生が本当にとっても素晴らしいです。愛情を持って子供たちに接して下さり厳しくもあり、しっかり褒めて認めて下さったり、子供の心も成長させてくださる事に感謝します。

○来年度も、今の校長先生で、同じ担任の先生で、隣のクラスも同じ先生でいてほしい(\*>▽<\*)4年生は大きく成長を感じ年でした♪とても満足しています♪いつもありがとうございます( //▽//)

○子どもたちが毎日楽しく学校生活を送れるのは、先生方のおかげです。

○いつも本当にありがとうございます。大変なことも多いと思いますが、応援しています。

## 【保護者によるご意見】

### 1 新型コロナウイルスの対応等について

- 黙食が、文部科学省から通達により、解除になったとニュースでやっておりました。翔南小でも早く解除して頂きたいです。
- 授業中のマスクは、グループワークのときだけでいいと思います。マスクから離れられないこともたちがいるのが気になります。
- マスクの影響で口呼吸の子どもが増えてきている。外でマスクを外さず登下校している子どもをみると熱中症、酸欠状態にならないか心配。低学年のマスクは不衛生に感じる。本当に学校でマスクは必要なのか？
- 低学年は、先生や友達の表情や口の動きをみながらコミュニケーションをします。マスクをつけるのは、風邪症状ある子どもだけでいいのでは？！
- マスクはもういらないと思います。子どもたちの心と体の成長に悪影響が心配です。
- コロナ禍で制限されていたことを、たとえば、マスクや休み時間の行動制限、音楽の歌や、発表、子ども同士の交流など、子どもがかわいそうなことは、早く元の生活様式に戻して欲しいです。
- そろそろ、子どもにマスクを選ぶ権利を与えて欲しい。校内でマスクを下げたら、口だけやって(鼻マスクして)と言われる。何の為のマスクなのか、コロナ感染を防ぐマスクなのか、テレビだけの情報に囚われる事なく、先生達にもしっかりと海外の情報や専門医師が出している本など、そしてpcrやワクチンの事、今の日本の背景など学んでいただけたら、このご時世の事がわかんと思います。教師としてマスクの『リスク』を子ども達の為に学んでいただきたいです。
- マスク、黙食、ソーシャルディスタンスの撤廃。大人はランチやディナー、忘年会、モアイ等、平気でしてるのに、この貴重な子ども時代の体験、コミュニケーションをマスクで奪うのは、そろそろ考え直さないと手遅れになると思います。
- 体育の時間や屋外でのマスク着用はやめてほしいです。体育があった日の夜に頭痛を訴えることがあります。
- 常時マスク着用と黙食について、社会的に必要なだからという理由で取り入れるのではなく、心身への影響を考慮し知識を踏まえた上でご決断していただけると安心でございます。
- コロナもあるとは思いますがハミガキを再開してほしいです。

Answer

現在、コロナの対応については、文科省、県教育委員会、町教育委員会のガイドラインに沿って対応しています。教室環境では、1メートル以上の距離の確保が厳しい現状があるためマスクなしでの給食中の会話はしないように指導しています。また、体育や登下校時や屋外ではマスクをしなくてもよいと指導しています。

歯みがきの再開は、コロナの感染状況が落ち着いたら検討します。今後とも公立学校としてガイドラインに沿って対応してまいります。

## 2 学級閉鎖について

○クラスにインフルエンザ10名いたら学級閉鎖は、理解できるが、数名PCR陽性者がいると学級閉鎖はやりすぎ感があります。

Answer

沖縄県教育委員会の示すガイドラインに沿って対応しております。人数を基準に閉鎖をしているのではなく、陽性者との感染可能期間での接触があり、クラス内で複数の陽性者が出た等、さらに広がる可能性がある場合閉鎖する場合があります。

## 3 教師の指導について

○普段の言葉使いが思わしくない先生が数名いました。おまえ、あんた等で生徒を呼ばないで欲しい。自宅でも使用しない言葉なので子供が驚いていました。

○生徒に対して高圧的な声かけをする先生がいましたので驚いた事があります。

○体罰無くす事

○もっと子供たちに寄り添って欲しい。以前、授業中に怪我をした際、先生から「それくらい大丈夫でしょ」と心ない言葉をかけられたと、話している事がありました。どういったニュアンスで言われたかまでは分かりませんが…悲しそうに話していたのが印象的でした。

Answer

お子様につらい思いをさせて大変申し訳ありません。暴言や高圧的な指導、体罰については、子ども達の人権を守る意味からも一切許されません。学校としても管理職による指導や定期的な研修、コンプライアンスチェック等を行いながら職員一同、子ども一人一人に寄り添った対応ができるよう心がけます。

## 4 宿題について

○宿題を減らして欲しい

○宿題が、多い日と少ない日ありますが…半々にしてもらえると助かります。

○家庭学習のやり方やサポートの仕方を入学前に丁寧に教えて欲しい。家庭学習に差があるから計算力や漢字力にも差が出るのだと思う。ノートをぎゅうぎゅう書き込む指導も時代錯誤だと思うのでやめてほしい。

○宿題がボリュームがあり、平日対応が難しいです。一年生なので、親子で取り組みたいが、学童でやってきて、確認する形になっています。

○宅習ですが、1学期に見本としていただいた同年生のコピーの半数は、算数なら計算間違い。国語は、漢字間違い、送り仮名間違い。先生がたは、ページを埋める事に重要視している様、学習としてはどうなのかと思いました。保護者も仕事をしています、プリントの答えのない物の丸付けは、時間がかかり負担です。

Answer

宿題は授業と連動して必要最小限与えるようにします。今後は高学年に上がるにつれて自学自習力の育成をめざして取り組む予定です。

## 5 教室・学校の環境について

- 11月の授業参観ですが、ジメジメと湿気もあり、英語の教室は扇風機もなく暑かった。子供達は慣れてるのでしょうか。せめて、扇風機があってもいいのかなあと。クーラーの利用期間も決まっているかとは思いますが、臨機応変に利用できたらいいですね。こんな電気代も高騰してるご時世にこんな意見ですみません。
- クラスの人数が多すぎる。1クラス 30人くらいの人数にしてほしい。
- 公衆電話を増やして欲しい

Answer

クーラーの稼働は10月までとなっておりますが、臨機応変に対応します。  
クラスの人数編成については文科省及びや県の規定に沿って行っています。  
公衆電話は以前は2台設置していましたが、昨年度NTTより使用頻度が少ないという  
ことで1台撤去された経緯です。ご容赦下さい。

## 6 学校からの連絡について

- 学校行事など急な変更は勤務調整が難しいので、早めに連絡を貰いたいです。
- 授業参観などなるべく参加したいので、新年度4月の保護者予定行事の日程を2月には提示して欲しい。毎年、シフト調整が大変です。
- お便りや提出期限のある書類などをもう少し早く配布してほしい。

Answer

ホームページに年間行事予定及び月行事予定を掲載しています。変更がある際は、  
お手紙等でお知らせします。月行事は1ヶ月前の予定を掲載できるように心がけます。  
次年度の年間行事予定については4月上旬に掲載する予定です。

## 7 通学路の安全対策・校内への車の乗り入れについて

- 登校前の子ども達の安全対策の見守り隊の旗持ち名前やクラス配分されてる通知が来  
てますが。私には出来なくて(>人<)申し訳なく思ってます。ごめんなさい。
- 朝の横断歩道旗持ち当番11.28の際（裏門）給油所前・雨降りで8時前目の前でバ  
イク滑り転倒車と接触事故がありました・幸いバイクの方は軽症で横断する子供達は  
いませんでした。PTAの方？と私で2人でしたが子供達横断する所なので事故目の前  
で見て怖い危ないと思いました。裏門は名簿でも参加率悪いみたいなので・先生方も  
参加出来る時にご協力お願いしたいです。
- 裏門にもものすごいスピードを出して入ってくる、先生方や保護者がいるので、たまに  
裏門駐車場前に立っていただけると安心して学校に通わせられます。
- 車の乗り入れをできるようにしてほしい

Answer

職員は児童の教育に専念してもらいたいという思いから、職員の旗持ちは考えておりません。地域・保護者によるできる範囲での見守りのご協力をお願いします。見守りがいない時間での事故が今年度3件発生しています。見守りがいる時間での登下校をお願いします。学校としても引き続き子ども達への安全指導を継続していきます。

裏門の危険性については町教育委員会の方にも報告しています。(歩道の表示やカーブミラーの設置ができないか等)職員にも危険性を知らせ、保護者へも必要最低限の車の乗り入れを周知します。

登下校時の校内への車の乗り入れについては、安全面への配慮から必要最低限にとどめ基本的にはご遠慮願います。(現状は、学童の車のみ可)

## 8 学校行事や取り組みについて

○マラソン大会縄跳び大会も以前のように参観したい！

Answer

学校全体での開催はせず、学年ごとで実施を検討します。開催予定の場合、お知らせ致します。

○生活発表会(学芸会)等は無いのでしょうか？

○音楽発表会をしてほしい

Answer

行事の精選の観点から学芸会は行いません。音楽については発表の場を設けたいと思います。生活科については通常の授業参観で学習の様子をご覧ください。

○平日の授業参観より日曜参観を増やしてほしい

Answer

今年度同様の年2回の日曜授業参観が予定されています。

○定期的に個人面談などが必要かと思えます

Answer

行事としての一斉の個人面談は7月に予定しています。お子様のことで、相談がある場合は、いつでも担任に面談依頼して下さい。

○視力維持。視力低下防止の取り組みをして欲しい。

Answer

視力検査後や目の愛護デー等、機会をみて養護教諭から目の健康についてお知らせしています。本校でも長時間のパソコン・スマホ等により近視が多くなっています。ご家庭でも目を酷使しないようご指導お願いします。

○異年齢との学びや関わりの機会が増えると嬉しい

Answer

次年度の教育活動に生かせるようにします。

## 8 スポーツ少年団の活動について

- 部活がある子ども達が一旦帰宅して部活動へ行くというのは大事だと思いますが、六校時の時片道30分以上かけて帰宅しすぐ向かわなければ行けず時間管理の面、安全管理の面で配慮できないものだろうか？ピロティにて勉強している子どもたち暗いと思う。（自分達で部活行く前に宿題したりと工夫しているのは凄いと思う。）
- 最終総下校まで図書館を開放するとかできないか？兄弟と一緒に帰宅できる環境があれば親も助かるし安心して徒歩下校させられると思う。子どもの居場所作りをして欲しい。
- 部活動との連携があまりとれていないように感じます。もう少し、学校側としても各部活動に積極的に関わりを持っていただきたいです。
- どのような部活動があるから分からないのでホームページや手紙に活動内容を載せてほしい。

### Answer

早く下校した際（5校時以前）に、スポーツ少年団の活動への参加は帰宅後参加するように声かけしています。図書室の利用については、6校時まで各学級に割り当ての時間割があるため、開放することが難しい現状です。

スポーツ少年団の活動は学校の教育活動とは切り離して考えています。年に2回程度、部活動指導者連絡会を実施し、連携をとれるようにします。

## 9 放課後の下校指導について

- のびっ子（2学年）12月号のお願い中、「下校後にランドセルを持ったまま公園で遊んでいる」ことについて何が問題なのか、親の理解ができていません。公園で親と待ち合わせをしている子、お稽古までの時間を過ごしている子、帰宅前に遊んでいる子等、様々だと思います。一律にダメというのは、子どもに対しても説明不足ではないでしょうか（それとも、ダメということではなく、親と子の間で約束事を交わしているならいいということなのでしょう）。放課後の過ごし方については、家庭でルールを決め、責任を持ちたいと思っています。

### Answer

説明不十分なお知らせになり申し訳ありません。登下校中は学校管理下となっていて万が一、登下校中に事故に遭った場合は保険が適用されますが、寄り道や通学路ではない場合は適用できない場合もあります。一端帰宅後、保護者管理下で遊ぶようにご指導お願いします。

## 10 よいこのあゆみ（所見）について

○事前の通知はありましたが、教師の働き方改革で、道徳や通知表の所見を削除するのはどうかと思いました。すべての親かは分かりませんが、少なくとも私は所見を楽しみにしています。また通知表の所見欄枠はあるのに、記入しないのはどうかと思います。個人面談も時間が限られているので厳しいと思いました。

Answer

ご意見ありがとうございます。今年度より、よいこのあゆみの所見を年間1回の記載にしております。所見を少なくしたことで、職員も子ども達と向き合う時間が増えたという成果もあります。今後とも子ども達、先生方、保護者の皆さまにとってよい方法を模索したいと考えております。

## 11 授業参観について

○授業参観時に子どもの様子を見てくださいと書かれていたので、楽しみにしていましたが、感想画の色塗りのみであったり、途中で図書館へ行かすのはどうかと思いました。図書館へ行く際には、他学級の保護者の前を通るので申し訳なかったです。

Answer

配慮が足りず申し訳ありません。職員一同共通確認し、よりよい参観内容に努めます。

## 12 児童の安心・安全について

○放課後の交通安全。正門前のガードレールに車道側に向いて座る。車が近づいてからの横断でスリルを競う遊びがあります。

○6年生女子がトイレにたまり、トイレに行きたくても休み時間中にトイレに行けなくて困ることが多々あるとよく子供が話しています。どうか改善できませんか？上級生なのでどいて。とは、言えず、どうしたらよいか？と相談されてますが、学校側で対策してほしいです。限られた、トイレ数、休み時間ですので。

Answer

早急に全体指導を行います。

## 13 教育相談・登校支援体制について

○心身的に登校を渋る際の保健室以外の子供が安心できる相談室とか一時避難所みたいなところがあるといいと思う。

○教室にいけない子の居場所が足りないと思う

Answer

心の教室、適応指導教室、等でサポートしながら登校支援しています。また、保健室、校長室等で落ち着くまでサポートすることもあります。

○不登校児に迎えの職員を1人だけで来させるのはどうかと思う。保護者が居ないときでも来るので貴重品等が紛失したさい、その職員を疑わざるを得ないが、そういう事態が起こり得ることを学校側が想定していないと感じた。また、不登校児への支援まで学校側が手が回らないだろうと思われるが、学校外の支援は、学校側が嫌なのかと思うふしがあった。不登校児への対応は想定内と捉えて、保護者側にもどう対応するのか説明してほしいです。

Answer

不登校児への対応については保護者への了承のもと対応できる範囲で訪問支援します。また、保護者への確認が取れない場合は、複数名で対応するように心がけます。

#### 14 学校評価アンケートについて

○アンケートについてですが、質問について現状がわからない事などがあるので選択回答をその他など追加してはどうでしょうか？

Answer

ご指摘有り難うございます。現状が分からないときは無答でも問題ありません。Googleフォーム入力の際にご理解いただけるように改善します。

#### 15 心のアンケートやいじめへの対応について

○いじめのない笑顔いっぱいの学校生活作りこれからもよろしくお願いします。

○生徒同士の揉め事が多い気がします。先生は把握していないこともたくさんあります。子供が学校から帰ってきたらクラスの子に叩かれたとか何回も言ってきました。この前はえんぴつで刺されて怪我をしてました。相手は遊びのつもりかもしれないけど本人は傷ついています。

○定期的にアンケートを行って下さっているようですが、先生と面と向かって説明するのは難しいところもあるようです。また、先生に対しての不信感などあれば、なおのこと伝えて行くことは難しいのではないかと思います。そこで、アンケートに関しては、第三者の方が関わるなど幅広い対応をしていただけたら、子供たちのハードルも下がっていくのではないかと考えました。宜しくお願い致します。

Answer

いじめのない学校づくりに向けて全職員、児童で取り組んでいますが、子ども同士のもめ事やいじわるなどは無くならないのが現状です。学校としては、今後ともいじめの未然防止・早期発見・早期対応に心がけます。その為に、以下のことに取り組みます。

①毎月「心のアンケート」を実施し、気になる子へは担任や複数の職員による声かけや聞き取りを行います。

②心の相談室やカウンセラーを活用し相談しやすい体制作りに努めます。

③アンケートについては担任や管理職で複数で確認し、見落としが無いように努めていきます。

④いじめに対しては、いじめられた側の気持ちに寄り添い、解決するように努めます。お子様のことで気になることがあれば、学校へご一報下さい。

## 16 名札・式服・学用品等について

○できたら名札を廃止してほしいです。

Answer

高学年では教科担任制の実施等でたくさんの児童と職員が接することが多いことから、最低一学期間は名札が必要と感じています。無くすことについては今後、段階的に検討していきます。

○式服をなくしてほしい

Answer

児童に時と場に応じて服装などを選ぶ習慣を身につけさせる意味で式服は継続しようと考えています。あまり着る機会も少なく、子どもの成長の度に買い換える不便さをお察しします。式服は、黒・白であればポロシャツやTシャツでも構いません。リモートでの式の参加が続くことも予想されるので、今後は無くすことについても検討していきます。

○体育着など学用品を学校内で譲ることができる機会があれば協力したい。

Answer

SDGsの観点からよい取り組みだと思います。PTA活動で可能か検討してみます。

### 【その他のご意見】

○親子集会のような、他の保護者と子供が関われる行事がもっと増えるといいなと思いました。同じ地域に住んでる子が誰か分からないため、地域別での集会など。

○下校時に学童の先生や保護者が靴箱の出入り口で待ち伏せするのは構いませんが、子ども達が来たときは場所を移動して生徒を迎えて欲しいです。出入り口が塞がったり他の子が出にくそうだったり詰まっているのでスムーズに出られるようにしていただきたいです。